




SOKA University



PASCAL入試
チャレンジ
プログラム
2023



成長力を引き出す
育成プログラムで、
入試も大学の学びもサポート！

- ▶ 総合型選抜「PASCAL入試」に活かせるスキルとマインドを育成！
- ▶ プログラム修了で出願資格の成績要件が3.0に緩和！

変わる社会で、今後に求められる力とは？

最適な成長へと導く、教育の進化

グローバル化やAI(人工知能)技術が進展する中で、社会が求める人材像や大学で身につけるべき力も変化しています。創価大学は、世界的視野に立ち、学生一人ひとりの可能性を今後の社会に最適化するかたちで伸ばしていきます。

学生の成長を促すための入試と育成プログラムがあります！
詳しくは、次ページをご覧ください

● 今後に求められる人物像

● 時代を先駆ける創 価大学の教育

従来型のキャリアにとらわれない人

高度情報社会の進展により、産業構造が変化し、新しいビジネスモデルが生まれる一方、従来の職業がなくなるなど、社会が転換期を迎えています。

こんな力が求められている

終身雇用を見直し、多様な働き方を導入する企業が増えてきました。人生100年時代、生涯を通じて、自分で自分のキャリアをデザインする必要があります。

一人ひとりの 生き方に寄り添う キャリア教育

4年間を通じてバリエーション豊富な キャリア教育科目を開講

将来への具体的な目標設定と行動計画を先輩学生との面談などを通して考える「キャリアデザイン基礎」、さまざまな業界の第一線で活躍する卒業生を講師に迎える「キャリア開発フォーラム」、世界を舞台に活躍したい学生のための「ワールドビジネスフォーラム」ほか、幅広いキャリア教育科目を設けています。

入学前から 自分自身のキャリアに向き合う

2023年度入試から導入されている「PASCAL入試チャレンジプログラム」では、キャリア科目専任教員などによる自己分析講座を経て、学生が将来の進路や職業を描き、その実現に向けた大学での学びを計画します。さらに先輩学生とのグループ面談を行い、学びのイメージを具体的に広げる機会をもちます。

人間にしかない能力を生かせる人

AI(人工知能)技術の活用により、これまで人間が担っていた定型的(繰り返し)作業や危険な作業を機械で代替することが可能になります。

こんな力が求められている

独創性のある発想や、臨機応変な対応、前例にとらわれない思考、人に寄り添う心など、人間にしかない能力を高め、発揮することが必要です。

これからの 時代に合わせた 能力の育成

グループワークを重視した アクティブラーニングを実践

創価大学では、すべての学部においてアクティブラーニングを実践しています。特に、グループで取り組むLTD*方式を重視し、SDGsの課題などにチームで解決に取り組む学びを多く取り入れています。

*Learning Through Discussion=話し合い学習法

ビッグデータの活用を可能にする データサイエンス教育を提供

ビッグデータを分析・活用し、新たな価値を創造するために、数理的なスキルの習得と、文理融合の視点で問題発見・解決を行う力を身に付ける「データサイエンス科目」を全学必修化。

LTD体験を通して入学前から 思考力・判断力・表現力を磨く

「PASCAL入試チャレンジプログラム」では、予習内容を発表し、話し合う機会を通じ、思考力・判断力・表現力を磨き、チームワークを高めるためのコミュニケーション能力を身につけます。

多様性を理解して、協働できる人

グローバル化により、異文化理解を必要とする交流の機会が増えています。また、人と協働することなしには乗り越えられない複雑な課題が増えています。

こんな力が求められている

多様な人々と尊重し合い、互いに協力して問題解決を図るために、異文化理解力と外国語運用能力を含めたコミュニケーション力が必要です。

グローバル教育と ダイバーシティへの 取り組み

国際社会で活躍できる グローバル教育プログラムが充実

「ワールドランゲージセンター」では10カ国以上の言語学習プログラムを提供。また国際社会で活躍する能力を身に付ける「グローバルシティズンシッププログラム(GCP)」など、学部横断型のプログラムも充実しています。

留学生や社会人と共に学び 交流できるキャンパス

世界65カ国・地域、236大学(2022年10月末現在)のネットワークを持ち、現在61カ国・地域から約600人の留学生が学んでいます。また、ダイバーシティへの取り組みを実践し、キャンパス内で多様な人々と共に学び、交流できます。

LTD体験を通して入学前から 多様性・協働性を磨く

「PASCAL入試チャレンジプログラム」では、人の意見を聞き、理解・発展させ、新たなコンセンサスを得る作業を通じ、多様性・協働性を磨き、多様な価値観に対応する力を身につけます。

創価大学総合型選抜

PASCAL 入試とは

PASCAL（パスカル）入試は、アクティブラーニングの要素を取り入れた創価大学独自の総合型選抜です。文系学部と看護学部ではLTD（話し合い学習法）方式のグループワーク、理工学部ではプレゼンテーション方式を採用しています。これに面接を加え、学力の3要素（①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）を総合的・多面的に評価した選抜を行います。

選考方法

LTD方式 （経済・経営・法・文・教育・国際教養・看護学部）

●第一次選考 <書類審査>

学部ごとの観点に基づき下記書類の審査を実施



※学部ごとの観点についてはホームページで詳細をご確認ください。

●第一次選考合格後 <予習実施>

第一次合格者は第二次選考に向け下記の予習を実施



*1 4,000～6,000字程度 *2 大学独自様式

●第二次選考 <Zoom>

オンライン会議システム「Zoom」を利用しての選考



*1グループ4～6名で実施。

LTD方式
紹介動画はこちらから



スケジュール(予定)

出願期間

2023年9月1日(金)～9月8日(金)
(締切日消印有効)

一次選考合格発表

2023年9月27日(水)

二次選考

2023年10月14日(土)・15日(日)
※選考はいずれか1日

合格発表

2023年11月1日(水)

プレゼンテーション方式 （理工学部）

●第一次選考 <書類審査>

学部ごとの観点に基づき下記書類の審査を実施



※学部ごとの観点についてはホームページで詳細をご確認ください。

●第一次選考合格後 <課題準備>

第一次合格者は第二次選考に向け下記の課題を準備



*学科ごとに提示される課題の中から一つ選び、プレゼンテーションソフトで作成。

●第二次選考 <Zoom>

オンライン会議システム「Zoom」を利用しての選考



*プレゼンテーションソフトを用いて発表。1名あたり5分＋質疑応答10分程度。1回受験者4名平均のグループで実施。

プレゼンテーション方式
紹介動画はこちらから



PASCAL入試

チャレンジプログラムとは

全講座無料／オンライン（一部対面プログラムもあり）

受講で
こんな
メリットが！

MERIT

1

PASCAL入試の
受験に必要な
対策ができる！

MERIT

2

出願資格の成績要件が
**3.5以上から
3.0以上に
緩和される！**

※プログラムの修了要件を満たした場合、
(理工学部は対象外です。)

MERIT

3

入学後に役立つ
学習法の体験と
将来を描く機会に！

全オンライン講座で開講「PASCAL入試チャレンジプログラム」

▶ 入試で評価する **2つの力** を育みます

「PASCAL入試チャレンジプログラム」は、PASCAL入試で評価する学力の3要素のうち、2つの力をLTD体験とキャリアプランニングで育成します。LTD体験のグループワーク、およびキャリアプランニングを通し、「思考力・判断力・表現力」を向上させ、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を育みます。

① **思考力
判断力
表現力**

問題を発見し、他者と共有しながら、必要な知識や方法を活用して、多様な考えを統合して解決へと導く。

② **主体性
協働性**

自己の資質や能力をどのように高め、どのように他者や社会と協働し、よりよい人生を送るかを考える。

▶ 大学入学後の学びに直結します

「PASCAL入試チャレンジプログラム」は、全てオンライン講座で全国どこからでも参加可能です。学習成績の状況（評定平均値）が3.5を満たすと想定できる方は、必ずしもこのプログラムに参加する必要はありませんが歓迎します。大学の授業でも求められる学習法を体験でき、進学への目的意識がより明確になるため、入学後の学びにも直結します。

プログラム実施内容 / 実施期間：2023年3月下旬～8月

LTD体験

●LTDとは

アクティブラーニングの手法の一つで、Learning Through Discussion=話し合い学習法のことです。創価大学では各学部の多くの授業で採用されています。

●実施概要

予習教材を精読し、「LTDガイダンス映像」にそって予習ノートを作成のうえ、LTDを体験します。LTD実施後は、個々に振り返りを行って「リフレクションシート」を提出します。

キャリアプランニング

●キャリアプランニングとは

自分の能力と経験を洗い出し、自身の潜在的な目的意識や嗜好性を発見します。そのうえで、大学での学びの意味や学部の志望について考えを深めます。

●実施概要

オンライン配信による「自己分析講座」を受講し、ワークシートにまとめます。また、現役学生の先輩によるグループ面談を行い、大学での学びのイメージを具体化します。

オープンキャンパス への参加

※対面参加、オンライン参加
いずれも可

PASCAL入試 チャレンジプログラム 募集要項

2023年1月23日(月)より募集開始

●申込資格

高等学校等を2023年度
卒業見込の者

●募集人員

200名

●応募方法

エントリーシートをWEB
にて入力(志望動機など)

※学習成績の状況(評定平均値)
など成績は問いません。
※理工学部はPASCAL入試チャ
レンジプログラムの出願要件緩
和の対象外です。

▼詳細はこちらから



私たちがPASCAL入試を「選んだ理由」と「実感している成長」をお話しします。

入試の準備そのものが視野を広げる期間になった



経済学部 / 経済学科2年
ニキータ・ドゥディン
Nikita Dudin, Mikhailovich

— パスカ入試を受験したきっかけ

将来は多言語を活用し、国際的な仕事に就きたいと高校時代からイメージしていました。そのため早く大学合格を決め、中国語に触れたり、国際関係の書籍を読んだり、大学の学びに備える時間をつくりたいと考え、秋に入試が行われるPASCAL入試に注目しました。

— 受験の際に意識したこと

自分の意見について筋道を立て、論理的に人に伝えることを課し、人の意見が自分とどう違うのか、共通点はあるかなど、すべて分析的に整理して考えるクセをつけました。そして、それが実際にできているかどうか、高校の先生、友人、家族に頼りてリハーサルを何度も繰り返して、本番の「LTD」ではグループでの活動であることを意識し、リーダーシップをとりました。

— 入試を通じて成長できたこと

LTDの議論で使用する予習教材の課題について理解を深めるために、自分で多くのリサーチを行いました。結果的にPASCAL入試の準備そのものが、大学の学びに備える知識を蓄え、国際社会への視野を広げることになりました。

— 大学生活での成長

正解がない問いに対して、多角的な視点から考える経験を通して、思考の深まりを感じています。また、私はインターナショナル・プログラム(IP)という英語で経済学を学ぶクラスに参加しています。英語で資料を読み、英語を使ってレポートやエッセイを書くことを通して、アカデミックな英語力が磨かれると同時に、さまざまな社会課題に対し、自分の意見を発信できるようになりました。その基盤はやはりPASCAL入試にあったと感じています。

簿記の資格をステップに公認会計士をめざして進学



経済学部 / 経済学科4年
岩尾 優平さん
岩尾 優平さん

— パスカ入試を受験したきっかけ

私は商業高校に通っていたので、大学受験にあたり一般的な学力試験よりも、日頃の成績や簿記の資格、部活動への取り組みが評価される入試が有利だと考え、PASCAL入試の受験を決めました。

— 受験の際に意識したこと

何のために大学に行くのか、大学を卒業後にどんな自分でいたいのか、あらためて自分に問いかけました。その結果、高校時代は授業の一環として挑戦した簿記の資格をステップとして、さらに上の資格をめざしたいという展望が見えてきました。そうした決意をしっかりと伝えられるよう、高校の先生と何度も面接練習を繰り返しました。その結果、自分自身がめざすキャリアプランが明確になり、高い目標に向かって努力する心構えができました。

— 入試を通じて成長できたこと

「LTD」に関しては、事前の情報収集の大切さを学びました。また、人前で意見を述べることに苦手意識があったのですが、ディスカッションを通じて、自分の意見を伝える楽しさや手応えを感じるようになりました。

— 大学生活での成長

公認会計士国家資格の取得を目標に、学内の「会計税務教育センター」に通っています。勉強の本質は自分自身に対する挑戦であると、深く実感しています。難関試験の合格には計画的な学習の継続が必要です。時には自分自身の弱さと闘わなければなりません。しかし、PASCAL入試を通して、自らのキャリア設計と真剣に向き合い、自分で決めたことなので、モチベーションを維持して、長い受験勉強を乗り越えていきたいと考えています。

— パスカ入試を受験したきっかけ

オープンキャンパスで、PASCAL入試の選考の一つである「LTD」を体験するグループディスカッションに参加しました。それまで議論を通して学ぶ機会があまりなかったのが、全国から集まった仲間と対話をしながら、学びを深め合うことに新鮮な喜びを感じました。人と話し、異なる考えを知り、自分の考えも深まるのが楽しく、その後、機会あるごとに5回も通ったほどです。

— 受験の際に意識したこと

「LTD」では、予習教材を深く読み込み、自分の最も言いたい意見を導き出すことを意識しました。面接に関しては、何のために創価大学に入学し、どんな力を身に付けたいのか、キーワードを書き出して整理しました。

— 入試を通じて成長できたこと

「LTD」体験会では、課題に対してグループの意見がなかなかまとまらないこともありましたが、その際、どの意見が良い悪いと決めつけるのではなく、それぞれの意見を尊重して対話することが、新たな視点で考えることにつながり、さらに良い意見を生み出せることを経験しました。PASCAL入試で鍛えられる力は、多様な人々と共生をめざす社会において必要とされるベーシックな力だと感じます。

— 大学生活での成長

学びを通して知った課題に対し、自分たちができることは何かを考え、実際に行動に移す力が身に付いてきたと感じます。現在は、人権問題に関心を持っていますが、SNSを通じた情報共有や、学外のオンラインイベントに参加するなどして、さらに学びを深めています。



私立クラーク記念国際高校出身
水野 さづかさん
法学部 / 法律学科3年

対話しながら、考えが深まる
新鮮な喜びが学びの原動力に

— パスカ入試を受験したきっかけ

高校受験の際に長期入院を経験したため、定時制高校に進学しました。それ以降、生徒会活動、部活動、資格の取得、海外派遣事業など、目の前のチャンスには積極的に挑戦し、努力してきました。そうした頑張りをアピールできる入試としてPASCAL入試を知りました。

— 受験の際に意識したこと

入学後、そして4年後、自分はどうなっていたいのか、そのためにはどうすればよいのか、目標を明確にすることを大切にしました。実は創価大学の受験を決めた際、最初から周囲の理解を得られたわけではありませんでした。ですが、自分自身のめざしたいことをハッキリさせていたため、情熱を持って志望理由を語ることで、周囲に納得してもらうことができました。

— 入試を通じて成長できたこと

私の「LTD」のグループは、話し合いがとても盛り上がり、6人中5人が合格しました。この成功体験の共有が自信につながり、入学後も、グループで討論をする際には積極的にグループをまとめる役割を引き受けています。

— 大学生活での成長

グループをまとめる際に心掛けていることは、メンバーの意見を引き出すことです。一人ひとりの個性を大切にすることにやりがいを感じますし、対話を通じ、4年間でかけがえのない仲間を得ることができました。中国留学時にグループ長として、パキスタン、イラン、ウクライナといった国籍の異なるメンバーと1つのプレゼンテーションをつくり上げた経験は卒業後もグローバル化するビジネスシーンで必ず生かされることと思います。



富山県立とくしま野高等学校出身
中川 真優さん
文学部 / 人間学科2022年卒

高校時代の挑戦を基盤に
新たなチャレンジの場へ

※各学生の学年は全て2022年12月現在

データで見る PASCAL入学生の成長実感

大学で身に付けたい力がアップ!

学生アンケートによると、本入試による入学生は、全学生平均と比較して、入学後、早期に自己の成長を実感しています。また、その後も高い割合で成長実感を持続していることがわかります。

異文化の理解能力

成長実感の全学生平均は 70%

PASCAL入学生の成長実感 **73%**

日本語コミュニケーション能力

成長実感の全学生平均は 76%

PASCAL入学生の成長実感 **83%**

他者と協力して行動する力

成長実感の全学生平均は 81%

PASCAL入学生の成長実感 **90%**

リーダーシップ能力

成長実感の全学生平均は 68%

PASCAL入学生の成長実感 **82%**

教員が語る PASCAL入学生が活躍する理由



アドミッションズセンター長 中山 雅司 教授

本学では多くの教員が授業で、「LTD」を含むアクティブラーニングを取り入れていますが、PASCAL入試は、LTD方式を採用しているため、PASCAL入学生は、入学後もその能力を十分に発揮して授業に臨んでいること

が、好成績につながっています。2023年度入試から実施している「PASCAL入試チャレンジプログラム」は、LTDの体験会を必須とする育成型のプログラムです。意欲ある受験生を大いに励まし、育てたいと考えています。

▶ 世界大学ランキング日本版2022 「国際性」で全国5位

イギリスの高等教育専門誌『タイムズ・ハイヤー・エデュケーション (THE)』を運営するTES Global社の「THE 世界大学ランキング 日本版2022」で、本学は「国際性」分野で5位にランクアップし3年連続トップ10に入りました。これは本学の「外国人学生比率」や「日本人学生の留学比率」「外国語で行なわれている講座の比率」「外国人教員比率」などが評価されたものです。



▶ 「就職偏差値が上がった大学」 第2位（中規模の部）

2022年1月、朝日新聞EduA (エデュア)にて発表された「就職偏差値が上がった大学」(中規模大学の部)において本学が2位に選ばれました。「大学就職偏差値」は、10年前と比較し企業からの評価がどう変わったかを順位付けしたもので、「入社するのが難しい企業にその大学からどれくらい就職しているか」を示しています。

主な就職先

●建設業 株式会社大林組 / 鹿島建設株式会社 ●金融業 ゴールドマン・サックス証券株式会社 / 株式会社三菱UFJ銀行 ●製造業 味の素株式会社 / P&Gジャパン合同会社 / 株式会社資生堂 ●情報通信業 ソフトバンク株式会社 / アマゾンジャパン合同会社 / マイクロソフト株式会社 ●サービス業・運輸業 株式会社リクルートホールディングス / 東日本旅客鉄道株式会社 / 全日本空輸株式会社 ●官公庁・独立行政法人 厚生労働省 / 裁判所事務官 / 国際協力機構 (JICA) ●医療機関 国立国際医療研究センター病院 他多数

Topics

理工学部・PASCAL入試「プレゼンテーション方式」体験会を
2023年夏休みを中心に実施予定! (*詳細日程はホームページに公開します。)

PASCAL入試
チャレンジプログラム

2023年1月23日(月)より
募集開始!

※応募詳細は中面へ

▼詳細はこちらから



SOKA University

創価大学 アドミッションズセンター
〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236
Tel 042-691-4617 Fax 042-691-9310
www.soka.ac.jp/

▼大学公式サイト



▼受験生向けページ



Access

●バスで来学される場合

JR八王子駅の北口ロータリー内、11・12番もしくは14番(時間帯により変更)バス乗場から「創価大学循環」、または「創価大正門・東京富士美術館」行きのバスにて約20分。

●自家用車で来学される場合

中央自動車道「八王子IC」から約7分、圏央道「あきる野IC」から約12分。